

環境省 全国「新・湯治」 効果測定調査 プロジェクト 実施マニュアル



■目的

日本国内には約3,000の温泉地が存在しており、その多くが従来から地域の重要な健康増進や観光の中核になっています。

温泉地の魅力の1つとして、健康増進効果やリフレッシュ効果があげられますが、温泉地全体の療養効果を科学的に示しているものは多くありません。そこで、本調査を行うことで温泉地に滞在することの効果、すなわち温泉地全体がどのように心身へ影響を与えるかを抽出し、温泉地の魅力向上、人々の健康増進へ寄与することを期待しています。

[新・湯治とは]

- ・温泉地訪問者が、温泉入浴に加えて、周辺の自然、歴史・文化、食などを活かした多様なプログラムを楽しみ、地域の人や他の訪問者とふれあい、心身ともに元気になること
- ・年代、国籍を問わず楽しめること
- ・滞在期間を問わないが、より長期の滞在を行うことが効果的

■調査地点

調査対象地域内に所在する、宿泊施設・観光施設・観光案内などで、温泉地で温泉を利用した成人の観光客に本調査票を配布し、記入を依頼してください。

■調査時期・期間・方法

調査開始～1月上旬までの間で実施してください。それ以降も任意で継続することは可能です。回答が多い方が意義のある結果が出ます。実施前に調査計画書（別添）を環境省が指定するプロジェクト事務局である（一財）日本健康開発財団へ提出してください。各種様式は、以下の環境省のURLに掲載します。

■回収・集計・分析

データ入力（一財）日本健康開発財団で行います。定期的にアンケート用紙の現物を（一財）日本健康開発財団へご送付ください。環境省において他の温泉地のデータと合わせて再解析をし、日本の温泉地全体の効果を明らかにします。個別の温泉地のデータは公表しません。

■結果の活用・公表

環境省が温泉地の活性化や当該温泉地のPRに活用します。個別にPRをご希望される場合は、（一財）日本健康開発財団までご連絡ください。

実施主体 環境省自然環境局
自然環境整備課温泉地保護利用推進室
(調査票掲載先)
https://www.env.go.jp/nature/onsen/spa/spa_project.html

本プロジェクトについてのお問い合わせ

(2020年度プロジェクト事務局)
一般財団法人 日本健康開発財団
メールアドレス: toji@jph-ri.or.jp
TEL:03-5290-1621 FAX:03-5290-1622
住所:東京都中央区日本橋3-1-4画廊ビル8階

■調査の流れ

STEP1（準備）

- ・調査票を下記URLからダウンロードして下さい。
- ・アンケート調査を行う場所の許可や人的配置など、必要な調整を行ってください。
- ・調査計画書を（一財）日本健康開発財団へ提出してください。
- ・調査票の文言等は変えないでください。

STEP 2（アンケート実施）

- ・調査票を印刷の上、旅行者に対してアンケートを実施してください。
- ※WEBアンケート（下記項目参照）の活用も御検討ください。
- ※回答者へは可能であれば、優待券・タオル・入浴剤などの粗品があるとよいでしょう。

STEP 3（提出）

- ・アンケートが集まりましたら、定期的（1ヶ月単位、3ヶ月単位など）に（一財）日本健康開発財団まで送付してください。
- ・個別にPRをご希望される場合は、環境省が指定する事業者までご連絡ください。

※調査票のダウンロード https://www.env.go.jp/nature/onsen/spa/spa_project.html

■WEBアンケート調査（試行）

今年度はアンケート用紙での調査に加えてWEBアンケート調査も試行的に実施します。アンケート内容は同様ですが、旅行者のスマートフォン等から指定のURLにアクセスして頂くことになります。WEBアンケートに協力頂ける地域におかれては、QRコードなどを掲載した紹介チラシを配布しますので、旅行者の目につく場所などに掲示してください。また、WEBアンケート調査の方法等についてのご提案・ご意見もお寄せください。

■新・湯治推進プラン（<https://www.env.go.jp/press/104349.html>）

「新・湯治」を提供する場として新しい温泉地のあり方、環境省や関係機関に求めることをまとめたもの

楽しく、元気になるプログラムの提供

- ・泉質、地域資源を活かしたプログラムの提供
- ・多様な温泉地間の連携による情報発信等
- ・年代、国籍を問わず、長期滞在しやすい宿泊プランづくり

「新・湯治」の効果の把握と普及、全国展開

- ・温泉地全体の療養効果等を科学的に把握し、その結果の情報発信
- ・統一フォーマットの提示により、全国的なデータの蓄積、評価、公開
- ・ストレス社会、健康長寿社会における重要性を踏まえた準備

温泉地の環境づくり

- ・外湯めぐりの充実といった「にぎわいの創出」
- ・周辺の自然環境等の地域資源を一体的に評価し、持続的な利用
- ・温泉地を拠点とした広域周遊、国立公園満喫プロジェクトとの連携

推進体制の構築等

- ・地域会社設立や観光組織（DMO等）の活用による体制づくり、財源確保
- ・地域外の民間企業等との連携
- ・関係省庁の連携

国民保養温泉地が
中核的・先進的な
役割

■発展的な調査について

本調査に加えて、泉質による個別の効能や特定の疾病への効能など、より発展的な調査をする場合は、本調査票による効果測定の外、以下のような評価指標があります。調査を実施する際は、専門的な知識も必要となるため、地元の大学や医療機関などの専門機関への協力を依頼することをお勧めいたします。また、（一財）日本健康開発財団へご相談いただいても結構です。

No. #	評価分類	評価ツールの例	得られる情報の例	検査手法
1	主観	主観的幸福感	自身の生活（人生）の満足度:QOL	質問紙（VAS）
2	主観	SF-8	精神的健康度・身体的健康度	質問紙
3	主観	OSA睡眠調査票	主観的な睡眠感	質問紙
4	主観	運動器疼痛スケール	膝・腰・肩の痛み	質問紙（VAS）
5	筋・骨格系	立ち上がりテスト、 ツーステップテスト	ロコモ、とくに高齢者に運動機能の 中の移動能力	体力測定
6	筋・骨格系	長座体前屈	柔軟性（腰背部、ハムストリングス 下腿部など）	体力測定
7	循環器	血圧	血圧の変化	血圧計
8	皮膚	水分量・皮脂量・弾力	皮膚の水分・油分・弾力	皮膚計測器
9	生化学	唾液	ストレスの程度	唾液検査
10	生化学	血液	各種ホルモン値、血糖など	採血検査